**エコノミカオンライン対戦ルールブック草案**

基本的なルールは最新版のルールブック（<http://economica.jp/wp-content/uploads/2015/05/【最終】エコノミカ公式ルール　サイト掲載用1.pdf>）に沿って行うが。オンライン用のルールを以下に規定する。

WEBカメラについて

・フローゾーン、ストックゾーン、山札、捨て札、手札の使用するカードのすべてが常に相手に見える状態にする。また音声もお互いに聞こえている状態で行う。

・カードを動かす時は、常に相手に見える状態で行う。

・可能な限りお互いに自分の画面と相手の画面の両方を録画する。録画したデータは運営に提出する。

試合・回線について

・対戦予定時刻を過ぎて10分が経過しても、どちらかのプレイヤーが試合を開始できる状態でないとき、そのプレイヤーの負けとする。

・故意な回線の切断は禁止する。お互いに回線が安定するところでプレイする。

・どちらかの回線が停止した時は、お互いに手を止めて回線が復旧するまでカードの操作はしてはいけない。

・回線が安定しない場合はお互いの了承で再戦を認める。

・故意でなくてもどちらかのプレイヤーの回線の切断が1試合に３回以上、または1試合に合計５分になった時点でそのプレイヤーの負けとする。

カードを切る操作について

・シャッフルするプレイヤーが自らの札（手札、山札、捨て札）シャッフルをした後、相手プレイヤーがカット枚数を申告する。その枚数だけ上から取って下へ付け加えつことで、カードを切る作業とする。試合開始時も、フローゾーンにカードをセットした後、この操作を行う。

・シャッフルの方法は問わないが、複数のシャッフルを混ぜ合わせるのが望ましい。

不正行為について

・オンラインでは対面より不正行為が行いやすいため、お互いに疑われないようにしなければならない。

・相手に手札の枚数を聞いたり、捨て札の開示を要求したりすることは通常通り行える。

・不正（虚偽申告や操作ミスなど）が発覚した場合、最新版ルールブック（<http://economica.jp/wp-content/uploads/2015/05/【最終】エコノミカ公式ルール　サイト掲載用1.pdf>）に則って作業を行う。が、明らかに故意な不正（積み込みやイカサマ）があった場合はそのプレイヤーの負けとする。

審判について

・オンライン対戦ではセルフジャッジを基本とするが、運営が審判を置く場合は審判も含めた３者で回線をつないで試合を行う。